

# 令和6年度7月園だより

段原みみょう保育園

## やりたい気持ちが心と身体を育てる

ぎりぎりまで天候が心配されていた運動会でしたが、子どもたちのパワーのおかげか、当日はお天気にも恵まれ、無事開催することができました。

今年度より0歳児の赤ちゃんにも参加していただきましたが、0,1,2歳の子どもたちは、大好きなお父さんお母さんと一緒に、身体を揺らしたり、走ったり、ジャンプしたりと愛らしい姿をたくさん見せてくれていました。保護者の方のお子さんを見つめるまなざし、そしてそれに応えるかのように見せる子どもたちの微笑みに、見ている私たちも思わず笑みがこぼれてしまうほどあったかい気持ちになった時間でした。

3,4,5歳の子どもたちは、「あと〇日したら運動会!!」と運動会の日を迎えること、保護者の方に見に来ていただくことを心待ちにしていました。当日、子どもたちのイキイキとした姿がたくさんみられていたのではないのでしょうか。特に年長さんは保育園生活最後の運動会。年中さんと一緒に行ったバルーンでは、自分の事だけでなく年中さんのことも気にかける姿が見られたり、4月から取り組んできた剣道では、自分で考えながら間隔をとって並んだり、背筋を伸ばし、大きな掛け声で自信をもって取り組む姿は胸が熱くなりました。こうした運動会当日の姿はもちろんですが、それまでの毎日の過程の中で、子どもたちは、友だちと一緒にすることの楽しさを感じたり、うまくいかないことに対して「もう一回」と挑戦したり、自分の事だけでなく相手のことを考えながら行動したりと、たくさんの育ちのエピソードがありました。この毎日の過程の中で育まれていくプロセスが、子どもたちの好奇心や協働性、自律心や自尊心など様々な心の育ちにおいてとても重要なのです。そしてそれは、小さな時から育まれていきます。側にいる大人ができたことだけ褒めるのではなく、うまくいかないけどやろうとする姿や一生懸命取り組む姿をしっかりと褒め、認めていく。そういう経験を繰り返す中で、“何かできるのではなく、何かしたくなる心を持った子ども”へと育っていくのです。段原みみょう保育園の子どもたちは、何かしたくなる気持ちで溢れています。これはきっと、保護者の方にたくさん受け止め、応えてもらっているからこそだと思います。その姿を大切に、これからも、共に子どもたちの心に寄り添いながら見守っていきたいと思います。

さあ、これから、子どもたちが楽しみにしている水あそびがはじまります。先日、らいおん組のAちゃんが、右肩にリュック、左肩にプールバックをかけ、意気揚々と靴箱までの階段を駆け上がっていく姿に出会いました。その後ろ姿からは“水あそび楽しみ”という気持ちはもちろんですが“今日もいっぱいあそぶぞ!”という思いが溢れ出ていました。夏ならではのダイナミックな水あそびや泥んこあそびは、子どもたちが大好きなあそびのひとつです。暑いからこそ感じる水の冷たさ、そして水の配分に応じて形や粘度、手触りが変わる泥の不思議さを子どもたちと全身で感じ楽しんで参ります。そして、一人ひとりの子どもたちが、やりたいことが溢れる毎日にしていきたいと思います。暑さが増すと熱中症など心配されることも増えてきます。ご家庭でも「早寝、早起き、朝ごはん」の生活リズムを大切にいただき、暑い夏を元気に乗り越えていきましょう。

園長

